

2026 年度 工学院大学体育会 方針

工学院大学体育会

会長 太田健斗



規約の改訂や役員会によって提出された議題、本会所属団体への処分などを審議する会議を行う。役員会で決定された議題が部長会へ提出され、部長会議で可決された内容を最終的な決定とする。

1. 存在意義

工学院大学体育会とは、本学所属の部活動・同好会(以下、本会所属団体)及びに役員会による総体である。

本会は本会所属団体を統合し、体育会活動を通じた学園生活の充実・向上、並びに本会所属団体の発展を意義とする。

2. 方針

2026 年度体育会は、本会所属団体との連携をより一層強化し、体育会活動を通じて本学の活性化に貢献することを目的として活動する。そのため、体育会役員と本会所属団体との情報共有を積極的に行い、活動目的や現状に対する共通理解を深める。

また、会則や各種制度の見直しを行い、組織運営の改善を図るとともに、次年度以降への円滑な引き継ぎが可能となる体制づくりを推進する。広報活動の強化や体育会全体としてのブランド価値の向上を図り、本学および体育会の魅力を学内外へ発信することで、本会所属団体の活性化に繋げる。

3. 活動内容

a. 「如蘭(JORUN)作成」

新入生向けに発行される体育会の広報誌である。本会所属団体の活動を分かりやすく掲載し、体育会の魅力を伝える。活動日や人数、写真等の詳しい情報を伝えることで、部活動詳細を知ることができ、結果として新入生が自分にあった部活を探す事をサポートする。新入生が参考にする情報源として、新入部員数の増加を促進し、本会所属団体の活性化を図る。

b. 「体育祭運営」

学生がスポーツを通じ、健康かつ充実した学園生活の促しや体育会の活動の認知を広げることが目的とする。大学生活で減ってしまうスポーツをする機会の提供また、学生間の交流を深める。部活動同士の交流を深めることも同時に目的とし、学内の各団体へ参加も促す。参加者にとってより良い大会にするため担当者を主軸に企画を練り、参加してくださった学部生に満足していただくことを目指す。また企業さんの協賛品、参加景品や優勝賞品を用意し、更に満足してもらうことも目指す。

c. 「役員会」「部長会議」

d. 「カルテ」

本会所属団体の活動状況を記録・分析し、団体運営の引き継ぎおよび課題解決を支援するための書類である。6 月頃に新年度の予定や人事について記入・提出してもらい、12 月頃には後期の活動結果を記入し再度提出してもらう。これにより各団体の活動状況を把握し、体育会全体の発展に役立てる。

e. 「体育会総会」

例年 7 月頃に開催される本会所属団体の代表が集まり、重要な決議・報告を行う集会である。本会全体の連携の強化を図る。予算案の報告や会則改訂の確認、部長会議で可決された内容の報告や如蘭(JORUN)に関する連絡などを行う。

f. 「試合着の統一」

本会所属団体の練習や試合で着用されているユニフォームを、工学院大学のスクールカラーである「青」「黄」に統一するというプロジェクトである。団体によってはロゼワークのついている試合着を着用する。それにより、工学院大学体育会として一体感を持たせることを目的とする。また体育会というブランドとして、本学や部活の PR に繋げる。

g. 「ブランドグッズ製作」

工学院大学のスクールカラーである「青」「黄」と本会提唱ロゴのあるグッズを製作するプロジェクトである。工学院大学公認ブランドを目指し、知名度を上げることで、新入生の興味を引く大学のイメージを作り、新入部員数の増加を図る。

h. 「公式 SNS の運営」

本会役員会の担当者を中心となり運営する広報活動である。主に X などの SNS を活用し、本会所属団体の活動や大会結果、イベント情報などを発信することで、新入生や在学生に体育会活動をより身近に感じてもらいたいことを目的とする。

以上を 2026 年度工学院大学体育会の方針とする。